

# 久慈市議会政和会行政視察報告書

1. 日 時 平成 28 年 10 月 18 日（火）13 時～16 時
2. 視察場所 雫石町
3. 視察者名 濱欠明宏 佐々木栄幸 大沢俊光 砂川利男 黒沼繫樹
4. 応対者 加藤副議長 高橋地域整備課長 小野推進監 小森主査  
横手総合福祉課主事 徳田議会事務局主査
5. 研修内容 大災害時の支援措置と復興への取り組みについて

## ア) 災害の概要

### ①災害の状況

平成 25 年 8 月 9 日午前 6 時から降り始め、8 時 45 分大雨洪水警報・9 時 10 分土砂災害警戒情報・11 時に岩手県記録的短時間大雨情報が発表となり、正午までの 1 時間降水量は最大 101 ミリ（総降水量 351 ミリ）を記録した。

雫石地区・御所地区・御明神地区のほぼ全域で住家の床上・床下浸水や土砂災害、道路の損壊や冠水による交通障害・停電や断水などの被害が発生した。

特に御明神地区の 2 集落、御所地区の 1 集落では道路への土砂崩れや損壊により一時孤立状態が生じたほか、流木による河道閉鎖により周辺地域に浸水する事態となった。

ただ、人的被害が無かったことが救いであった。

### ②被害の概要

住家被害 758 件、土砂災害 103 件、道路・土木施設被害 333 件、上下水道被害 105 件、農業被害 1,836 件、観光・商工施設被害 36 件、学校施設被害 3 件、保育・福祉施設被害 2 件、社会教育・体育施設被害 11 件、公共施設被害 10 件で合計 3,197 件。被害額は合計 6,665,100 千円。

イ) 災害対策の取り組み

- ① 8月9日8時45分に災害警戒本部設置、10時45分に災害対策本部に移行。
- ② 陳情及び調査対応
  - a、 8月10日岩手県知事現地調査
  - b、 8月12日激甚災害指定等の陳情
  - c、 8月13日政府調査団現地調査への対応
  - d、 8月14日国土交通省現地調査
  - e、 9月11日岩手県議会県土整備委員会県北ブロック調査
- ③ 8月10日災害救助法適用。8月15日激甚災害指定。
- ④ TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）による調査支援  
被害の状況把握方法、復旧方法の考え方、災害復旧の留意点、生活道路の早期通行ルート設定方法等について技術的助言をいただいた。（国交省・岩手県）
- ⑤ 応急対策
  - a、 避難所の開設、応急食料の提供
  - b、 国交省・岩手県・県警に被害情報の収集と災害対応のため参集して貰った。
  - c、 自衛隊災害派遣要請 8月9日午後0時24分要請、午後2時に到着。  
避難者救出、上空偵察、食料供給活動。延べ187人、45台、4機。
  - d、 情報周知 防災行政無線のみならず、・いわてモバイルメールによる配信  
・町ホームページ、ツイッターによる発信・町広報紙号外による支援情報等の周知。
  - e、 孤立地区対策 自衛隊ヘリコプターによる救出・食料運搬のほか、通信確保、電力確保、地区内状況確認及び健康状態の確認等。
  - f、 主要交通の復旧
  - g、 ライフラインの復旧
  - h、 防疫対策 消石灰、家庭用塩素系漂白剤、逆性石鹼
  - i、 災害廃棄物対策
  - j、 消防団による対応
  - k、 民生委員、自主防災会による対応

ウ) 被災者支援・復旧復興への取り組み

被災者の支援と復旧復興に向けては、被災者の生活と健康を確保すること、できるだけ早期の復旧復興を念頭に、意見交換会等を開催し住民理解を得ながら進めること、総合相談窓口を設けて精神的不安や生活不安を解消し、各種手続きの簡便化を図ることにより被災住民の支援を行う。

- ① 意見交換会 孤立地区で3回、地区別に4か所で開催
- ② 各種支援制度の周知 広報紙号外を3回発行、9月号で特集記事を掲載
- ③ 災害ボランティアセンターの設置
- ④ 総合相談窓口の設置 相談件数 217 件
- ⑤ 心身の健康相談窓口の開催 実施回数 10 回
- ⑥ 一時孤立地区介護認定者への支援
- ⑦ 宅地内の崩土撤去費用の助成
- ⑧ 中小企業被災資産修繕事業 経済基盤の再興と就業機会の確保を図るための助成
- ⑨ 大雨洪水災害対応の検証 被害情報の収集整理や被害調査、応急対策などに係る問題も明らかになったことから、災害対応に係る検証を通じて課題や改善策を見出し、今後の災害に的確に対応できるよう、防災体制の強化と充実を図るため検証した。
- ⑩ 復興整備課の新設 被害の早期復旧を図るため平成 25 年 11 月 1 日付で設置。

復旧工事に係る設計及び施工管理を主業務として、農業・農業用施設・林道及び公共土木施設の復旧に一体的に取り組む。災害復旧工事合計 3,360 百万円。

以上を庁舎内で研修し、その後上野澤地区の土砂災害と雫石川護岸復旧現場を視察しました。3年間での災害復旧工事完成への苦勞、その間の再災害の心配、雪解け時の土砂災害対策等大変参考となり、また勉強になりました。関係書類を添付し報告します

平成 28 年 11 月 30 日

政 和 会

濱欠明宏 佐々木栄幸 大沢俊光 砂川利男 黒沼繫樹